

開講科目名 / Course	成人・老年看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	小野 美喜	
担当教員名 / Instructor	小野 美喜、宿利 優子、森 加苗愛、佐藤 栄治、堀 裕子、中釜 英里佳	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	健康課題（問題）をもつ成人および高齢者の急性期、回復期、慢性期の対象に必要な援助を検討し、看護過程の展開の思考と看護技術を学内で習得する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手術を受ける成人紙上患者のアセスメントが説明できる。 2. 手術後患者の観察項目を理解し、異常の早期発見と必要な看護援助を演習で実施できる。 3. 術後合併症を予防するための看護技術を実施できる。 4. 模擬高齢者の身体的・心理的・社会的変化、生活暦を踏まえた全体像を説明できる。 5. 認知症の高齢者の特性や看護について説明できる。 6. 高齢者の多様な健康レベルに応じて多職種や関係機関との連携・協働について説明できる。 7. 高齢者の個性を踏まえた生活の質を支える看護について説明できる。 8. グループワークで自己の考えを述べ、議論することができる。 	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01-02. ガイダンス 紙上成人事例の看護過程の展開 事例提供、アセスメント 03-04. 紙上成人事例の看護過程の展開 アセスメント 05-06. 紙上成人事例の看護過程の展開 統合 看護計画 07-08. 紙上成人事例の看護過程の展開 術直後看護実践 09-10. 紙上成人事例の看護過程の展開 看護計画修正・評価 11-12. 紙上成人事例の看護過程の展開 看護要約 継続看護 13-14. 術後看護実践演習：脳外科系疾患事例の理解と看護実践 15-16. 術後看護実践演習：消化器系疾患事例の理解と看護実践 17-18. 老いとは、高齢者とは、高齢者疑似体験 19-20. 高齢者疑似体験、グループ討議、発表 21. 認知症高齢者の理解と看護：事例の課題検討 22-23. 認知症高齢者の理解と看護：グループワーク 24. 認知症高齢者の理解と看護：プレゼンテーション 25-26. 多様な高齢者を支える多職種・関係機関との連携協働：事例検討 27-28. 多様な高齢者を支える多職種・関係機関との連携協働：グループワーク 29-30. まとめ 詳細は別途資料を配布する。授業の順序は変更する可能性がある。	
その他の授業の工夫	看護の質を高めるために学生間でグループディスカッションを行う時間がある。	
時間外学修	紙上事例や課題について、上記授業時間以外にもテキストや図書を使用し課題様式にまとめ、指定期限内に提出する。	
評価方法と評価割合	個人課題の内容（50％）、グループ討議、ロールプレイへの参加度（50％）	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学（医学書院） 系統看護学講座 専門分野 成人看護学（医学書院） 他	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	小野美喜：看護師 森加苗愛：看護師 堀裕子：看護師 中釜英里佳：看護師 佐藤栄治：看護師 宿利優子：看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	病院の看護師

実務経験をいかした教育内容

全教員が看護師として実務経験がある。様々な領域での臨床看護師としての経験を踏まえて、臨床現場のリアリティがある教育を行う。